

地震

はじめに

- 地震の被害想定は、「あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波」の条件を基にした南海トラフ巨大地震を対象としたものです。
- 皆さんの避難に役立つよう、地震時における被害想定、避難方法や避難の考え方を取りまとめています。
- ◎田布施町における「津波浸水想定」の詳細については、本マップの表面にとりまとめています。

山口県における被害と、田布施町における被害

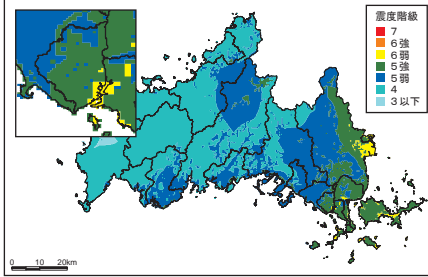
揺れ

山口県における被害

- 県東部で震度が高くなる傾向があり、柳井市平野島では震度6強が想定されます。
- 建物被害では、609棟の全壊、7,168棟の半壊が想定されます。

田布施町における被害

- 田布施町の最大震度は6弱、全域は概ね震度5強が想定されます。
- 建物被害では、2棟の全壊、137棟の半壊が想定されます。



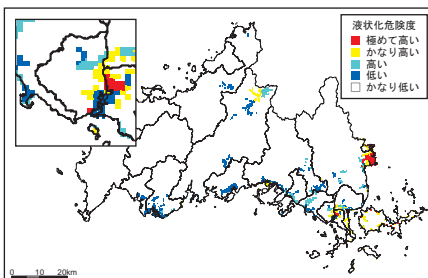
液状化

山口県における被害

- 山口県における被害想定はそれほど大きくありませんが、県東部で液状化の危険度が高くなる傾向があります。
- 建物被害では、1,771棟の全壊、2,761棟の半壊が想定されます。

田布施町における被害

- 田布施川沿岸において、液状化危険度が高くなっています。
- 建物被害では、31棟の全壊、84棟の半壊が想定されます。



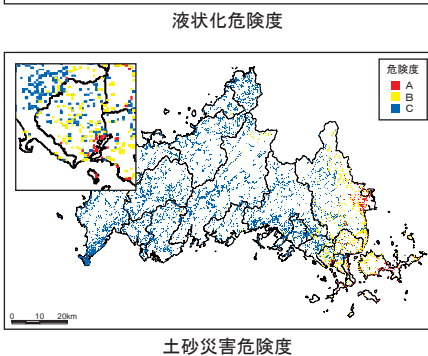
土砂災害

山口県における被害

- 県東部で土砂災害の危険度が高くなる傾向があります。
- 建物被害では、61棟の全壊、124棟の半壊が想定されます。

田布施町における被害

- 町全域に危険度Bが広がっている他、南部で危険度Aが見られます。
- 建物被害では、2棟の全壊、5棟の半壊が想定されます。



建物被害想定

単位：棟

	合計	揺れ	液状化	土砂災害	津波	
山口県	全壊	5,895	609	1,771	61	3,455
	半壊	43,021	7,168	2,761	124	32,968
田布施町	全壊	49	2	31	2	14
	半壊	551	137	84	5	325

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがあります。

地震における避難の考え方

避難時の考え方

一時避難	・揺れが収まったら、公園や農地などに出て安全確認をしましょう。	
安否確認	・慌てず、地域で安否確認や火災の状況確認をしましょう。	
避難	・自宅が倒壊したり、火災にあって戻れない場合、避難所へ行きましょう。	

要配慮者への対応

- 要配慮者とは
・突然の災害に見舞われたとき、大きな被害を受けやすいのは、高齢者、障害者、乳幼児などの要配慮者と呼ばれる人です。
- 避難行動要支援者の支援に関する取り組み
・要配慮者のうち、自ら避難することが困難な方で、特に支援を必要とする人を避難行動要支援者といいます。田布施町では避難行動要支援者について、名簿と個別計画を作成しています。一人での避難が困難な方は申し出ていただき、避難支援者や地域支援団体の協力による支援を実施することとなります。
- ・要配慮者を災害から守るために、地域で協力しながら支援していくことが求められます。

地震における留意事項

■平常時にしておくこと

①避難所と避難路の確認

- ・避難所やそこまでの経路は、ハザードマップを使って確認しておきましょう。また、安全に通行できそうか、避難所までのくらの時間がかかるのか確認しておきましょう。

②家の内外の安全対策

- ・ガラスには飛散防止フィルムを貼る、家具や瓦などを固定する、玄関にモノを置かないなどの対処をしておきましょう。また耐震診断で家の耐震性を確認し、必要に応じて耐震改修を進めましょう。

③避難時の携行物の整理と点検

- ・冊子の「避難時の携行物」を参考に、必要最小限の荷物を事前に用意しておきましょう。

■被災時の留意事項

地震発生	1~3分	3~5分
<ul style="list-style-type: none"> ●まず、自分の身を守る。 ●揺れが収まったら火を消す。 ●ドア、窓を開ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ●火元の確認をする。 ●靴・スリッパを履く。 ●濡れ傘などの危険がある地域は即避難。 	<ul style="list-style-type: none"> ●近所に火は出していないか確認する。 ●出火防止・初期消火に努める。 ●余震に注意する。
10分~数時間	数時間~3日	避難生活
<ul style="list-style-type: none"> ●みんなで消火・救出活動。 ●ラジオなどで情報を確認。 ●電話は緊急連絡を優先する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●消火と救出活動に協力する。 ●壊れた家には戻らない。 ●自主防災組織に協力し、避難生活。 	<ul style="list-style-type: none"> ●指定された避難所での避難生活。 ●町に協力して避難所運営。 ●要配慮者に対する配慮。

津波

はじめに

- 津波の被害想定は、「あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波」の条件を基にした南海トラフ巨大地震及び周防灘断層群主部の地震を対象としたものです。
- 皆さんの避難に役立つよう、津波時における被害想定、避難方法や避難の考え方を取りまとめています。
- また近隣市町には被害の大きいところが多く、そうした場所で被災する可能性もあります。

◎田布施町における被害想定と近隣市町における被害想定を意識しておきましょう。

津波のメカニズムなど役立つ情報

■津波の起こり方

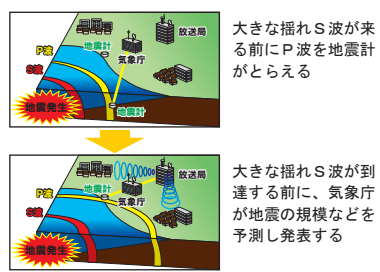
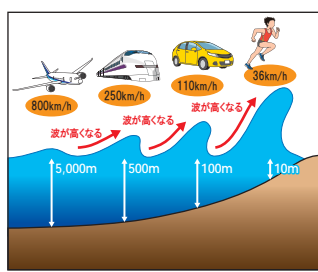
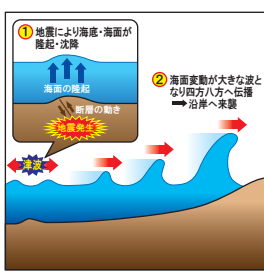
海底下で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起や沈降します。これに伴って、海水が変動し海面が隆起して大きな波となり四方八方に伝播するものが津波です。

■津波の速度

津波は、海が深いほど早く伝わる性質があり、沖合ではジェット機に匹敵する速さです。陸地に近づき水深が浅くなると波高が高くなり、速度は遅くなりますが、水深10mの位置でも短距離ランナーの全速力並みのスピードがあります。

■緊急地震速報

地震はP波と呼ばれる小さな揺れのあと、S波と呼ばれる大きな揺れが来ます。緊急地震速報は、このP波をとらえ、地震の規模や震源地を予測し、大きな揺れのS波が来る数秒から数十秒前に気象庁が発表するものです。テレビやラジオなどを通じて、速報の発表がされます。



津波避難に関する情報

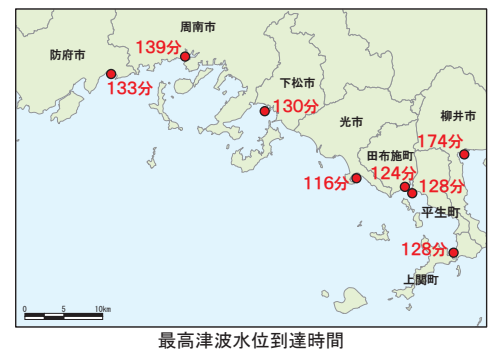
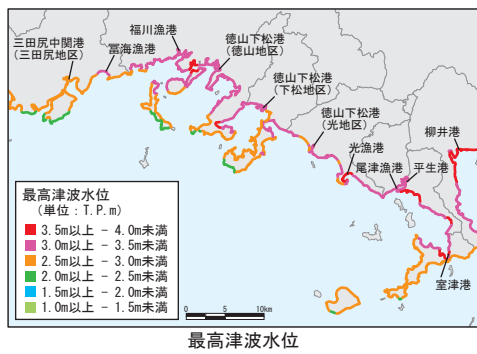
■避難に関する情報

種類	発表する津波の高さ	とるべき行動	想定される被害
大津波警報	10m超 10m 5m	<ul style="list-style-type: none"> ●沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や高いビルなど安全な場所へ避難してください。 ●津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
津波警報	3m	<ul style="list-style-type: none"> ●このころ安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう! 	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (表記しない)	<ul style="list-style-type: none"> ●海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。 ●津波注意報が解除されるまで海に入ったり、海岸に近づいたりしないでください。 	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し、小型船舶が転覆する。

津波の被害

自治体名	最高津波水位 (T.P.m)	最高津波水位到達時間 (分)	影響開始時間 (分)	自治体名	最高津波水位 (T.P.m)	最高津波水位到達時間 (分)	影響開始時間 (分)	自治体名	最高津波水位 (T.P.m)	最高津波水位到達時間 (分)	影響開始時間 (分)
平生町	3.8	128	38	光市	3.6	116	34	宇部市	3.2	306	66
柳井市	3.8	174	18	上関町	3.6	128	32	山口市	3.2	308	59
下関市	3.8	245	105	周南市	3.5	139	45	防府市	3.1	133	43
周防大島町	3.7	173	25	田布施町	3.4	124	35	和木町	3.0	218	31
山陽小野田市	3.7	251	107	下松市	3.2	130	44	岩国市	3.0	223	32

※各数値は市町ごとに設定している主要な港湾・漁港など（代表地点）のもの。
※影響開始時間は、±20cmの水位変化（海辺にいる人の人命に影響が出る恐れのある水位変化）が生じるまでの時間。



津波における留意事項

■平常時にしておくこと

①危険性のチェック

- ・職場や学校、普段訪れる病院や買い物先などの津波浸水の危険性を確認しておきましょう。
- ・具体的には、「浸水深」と「到達時間」を確認しましょう。

②避難場所の検討

- ・もし職場などが津波浸水エリア内にある場合は、事前に対象地域の防災マップや現地にて避難場所を確認する他、被災時の避難行動を考えておきましょう。

■被災時の留意事項

まず情報収集

- ・慌てず、津波の発生状況の情報（ラジオ・テレビ・災害時緊急情報など）を確認しましょう。
- ・最高津波水位の到達まで約120分の時間があります。また35分以内には海辺から離れるようにしましょう。

津波警報が発令されたら…

避難の準備

- ・津波発生時の恐れが低い場合は、火災・液状化などの被害に気をつけながら、自宅に戻って持出品を準備しましょう。
- ・準備後、避難場所へ避難しましょう。

避難

- ・慌てず、あらかじめ決めている広い道を使って、避難場所まで避難しましょう。
- ・避難時には、右記のことに気をつけて下さい。

津波は時速36km	避難は徒歩で	すぐに戻らない	油断しない	より速く・高く
見えてからでは間に合わない	車は渋滞に巻き込まれる	津波は繰り返し押し寄せる	小さな地震でも大津波になる	余裕があれば浸水区域外へ